

事業番号	10 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室				
		実施期間	H16 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑥就業率								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり							

1 現状と課題

- ・衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に向けて、食品衛生法の一部改正により令和3年6月から本格施行されたHACCPに沿った衛生管理が求められる。
- ・捕獲から解体加工、流通、消費に係る一連の過程における課題を総合的に解消することが必要である。

2 事業目的

野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除や捕獲等の対策と併せ、捕獲した個体を地域の有用な資源として活用を進め、民間との協働により、信州ジビエをビジネスとして定着させるための総合的な振興を図り、農山村の活性化に資する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① 信州ジビエの生産体制整備への支援
- ・市町村や協議会が行う衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に係る施設整備や販路開拓等の活動を支援
- ② 食肉加工施設に対するHACCP導入支援
- ・県内12施設を対象にHACCP導入に向けた研修会を開催し、制度導入義務化への対応を支援
- ※HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point）
HACCPとは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法
- ③ シカ肉の安全な流通を確保するための放射性物質検査の実施
- ・富士見町産シカ肉の全頭調査と県内シカ肉のモニタリングによる放射性物質検査を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	HACCP認証施設数	箇所	-	4	—	2	↘	2	達成	衛生管理研修受講施設6施設のうち、4施設が令和3年度に導入予定であり、残る2施設を令和4年度の目標値として設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	18,857	△ 4,000	14,857	1,961	6,449	1.0
R3年度	0	16,061	△ 2,700	13,361	1,921	11,813	1.0
R2年度	0	11,384	△ 2,156	9,228	2,490	7,859	1.0

事業番号	10 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策室		

6 主な取組実績と成果

<p>① 信州ジビエ生産体制整備</p> <p>・衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産・流通に向けた販路開拓等を促進するため、2市町村協議会へ商品開発や販路拡大等の取組への支援を行い、安定的な生産体制の維持につながった</p> <p>② 信州ジビエ流通体制整備</p> <p>・食肉加工施設の衛生管理体制の整備を支援するため、2施設へ指導を行い、信州産シカ肉認証制度の取得へ向け準備を進めることとなった</p> <p>③ 信州ジビエ活用促進</p> <p>・安全な野生獣肉の流通のため、食肉加工施設で加工された食肉用個体を中心に放射性物質のモニタリングを行った。</p> <p>・基準値を超過した放射性物質が検出された市町村において、出荷制限されている獣肉の安全性を確認するため、出荷を予定している獣肉製品について全頭検査を実施した。</p>

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	HACCP認証施設数	R3年度推移	—	R4年度推移	↘	達成状況	達成
<p>・食肉加工施設の衛生管理体制の整備を支援するため、2施設へ指導を行い、信州産シカ肉認証制度の取得へ向け準備を進めることとなった。なお、審査に必要となる検査や審査日等の調整がつかず認証には至らなかった。</p>							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <p>・安全で良質なジビエの安定的な生産体制を推進するため、継続的な衛生指導や放射性物質のモニタリングが必要である</p> <p>・信州産シカ肉認証制度では小規模処理施設等でも認証が得やすいように制度の見直し等も必要である</p>
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <p>・情報収集活動における課題や目標を共有し、営業局との連携を密にし、より効果的で効率的な情報収集を実施する</p> <p>・専門家等の意見を聞きながら認証制度の見直し等を検討する</p>

事業番号	10 05 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業			部局	林務部	課・室	鳥獣対策室	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	信州ジビエ総合振興対策事業		7,859 千円	11,813 千円	6,449 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ジビエ生産体制整備	交付金	捕獲・搬送・解体加工に係る、良質なジビエ生産に必要な施設整備と販路開拓等の体制整備を支援 2 市町村協議会への支援		
2	信州ジビエ流通体制整備	直接	ジビエ流通・消費、衛生管理の専門家を通じ販路開拓や流通体制を整備するほか、新たに義務化される食肉加工施設の衛生管理体制の整備を支援 食肉加工施設 2 施設への支援		
3	信州ジビエ活用促進	直接	安全なジビエを提供するための放射性物質検査を実施 全頭検査(富士見町内で捕獲されたシカ)497件、モニタリング検査48件 計545件		